

COMVO

2022
6
vol. 267

communication x voluntary



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」
自由に行きたい場所へ
視覚障がい者を支え、共に歩く

特定非営利活動法人
視覚障害者支援の会クローバー

- 5 厚生労働大臣表彰受賞!!
手話コミュニケーションで
明るく、やさしい地域づくり
手話サークル『おおよど』
- 8 ふらりを入れて自由に過ごせる
『10代のヒミツキチ』がある古本屋
大吉堂



青空の下、利用者の笑顔が広がる交流会

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

自由に行きたい場所へ 視覚障がい者を支え、共に歩く

3 すべての人に健康と福祉を

10 人や国の不平等をなくそう

阪神大震災の中で 生まれた支援活動

「視覚障がいのある人に、行きたい時、行きたいところへ行くことができ『移動の自由』を」。今回は、そんな想いを胸に活動を続けているボランティア団体をご紹介します。

「買い物に出かける。イベントに参加する。旅行に出かける…。暮らしの中にあるそんな楽しみは、私たち一人ひとりに与えられた自由であり、正当な権利です。しかし、障がいなどによって、これらの行動がままならない人も多くいます。

「視覚障がいのある人に、行きたい時、行きたいところへ行くことができ『移動の自由』を」。今回は、そんな想いを胸に活動を続けているボランティア団体をご紹介します。

『特定非営利活動法人 視覚障害者支援の会クローバー』（以下、クローバー）の歴史は、阪神大震災が起きた1995年までさかのぼります。

震災直後、甚大な被害を受けた神戸市や西宮市周辺では、交通事情が悪化。一部不通となった鉄道路線もあり、多くの人がこれまで使ったことのないルートでの移動を余儀なくされました。さらに道路では緊急車両が頻繁に行き交ううえ、倒壊した建物や散乱した瓦礫によって通行を阻まれている場所も至るところにありました。

「震災で大切な友人やたくさんの方が亡くなり、当時は、生き残った者として何が出来るだろうかと、ずっと考えていました。そんな時に」ユースで、瓦礫にあふれた町で、目の不自由な人が外出困難になっていることを知ったんです。」

そう話すのは、『フローバー』の代表理事を務めている中川由希子さん（以下、中川さん）。

そんな折、日本ライトハウス盲人情報文化センター（現、日本ライトハウス情報文化センター）で『阪神大震災 視覚障害被災者支援対策本部（HABEE）』が立ち上がります。中川さんはそこで開催された、視覚障がい者の歩行介助について学ぶ『手引き講習会』に参加。講習会で出会った約 70人の仲間たちとともに『フローバー』を設立し、震災からわずか3カ月後に活動を開始しました。

「当時は神戸市の山手にある施設に、住まいが倒壊してしまった視覚障がい者の人たちが多く避難されていました。そちらに声を掛けに行き、罹災手続きのための役所への往復や、仕事に出か



『フローバー』代表理事の中川由希子さん

ける人の職場への送迎などを、1日に朝・昼・晩と、何度もメンバーと交代で行いました。避難所から仮設住宅へ、さらには復興住宅へと移られる際も、環境が変わるたびに、お一人で安心して歩いて行けるかを確認できるまで、一緒に何度も道を歩きました」と、中川さんは当時を振り返りながら話します。

全国各地から届く ボランティアの依頼

阪神大震災から1年を過ぎた頃から、『フローバー』には、被災地以外からも、目的地への送迎、コンサートやイベントへの同行などの依頼が増えるようになりま

す。「それまでは被災者の支援活動というスタンスでしたが、当時はホームヘルパー制度もなく、普段でも外出するのに困っている人が多いことに気付かされました。依頼を受けるようになると□□で広がったようで、事務所が大阪市内にあることから、関西各地はもとより、遠方から大阪に来られた際の同行支援を依頼されることも多くなりました」と、中川さん。

さらに全国のボランティア団体と手を結び、旅行など、視覚障がい者の広域な移動を支援するネットワークに参加。



1995年から現在まで、すべての活動記録を保管

以来25年以上もの間、休むことなく外出支援活動を続けています。

現在、『フローバー』に登録しているボランティア数は、およそ80人。10代から80代まで年齢層は幅広く、仕事や学業の合間に活動を行っている人もいます。また、中川さんが専門学校のホテル学科などで毎年行う出張授業を通じて、アジアの国々を中心とした海外からの留学生の参加も多くなりました。

ボランティアに参加する条件は、『フローバー』が行う、約2時間半の『手引き講習会』を受講すること。その後、コーディネーターから連絡があり、依頼の日程や活動場所などと条件が合えば、すぐさまボランティアとして活動します。

「どんな風に手引きしてほしいかは、全盲の人、弱視の人、車椅子の人、白杖を上手に使いこなせる人など、その人の

状態や性格タイプによって全く違います。マニュアル的に理解するのではなく、同行しながら、その人がどうしてほしいのか、その都度コミュニケーションを取ることが何より重要だと思っています」と、中川さん。

難しく考えず、その人の立場に立ち、その人の目の代わりをすることが、『フローバー』流の支援です。



関西での同行依頼が全国から寄せられます

人と人をつなぎながら 誰もが支え合える社会に

『フローバー』では、利用者の人たちに参加してもらう交流会を、とても大切にしています。

二年に一度ですが、毎回いろいろな趣向を凝らして開催しています。会場内を縁日風に演出してプラスチックの金魚すくい大会をしたり、屋外の公園では、履いたスリッパを飛ばして距離を競ったり。競技によってはボランティアメンバーもアイマスクを付けて、みんなが目の見えない状態でゲームを楽しみます。うちの交流会は面白いからと、皆さん、全国から泊りがけで来られるんですよ。」



「クローバー」利用者の皆さんとボランティアたち



交流会で、楽しく金魚すくい大会

さらに中川さんは話を続けます。

「全盲の人の中には、病気で最近になって失明された人もいます。そんな人は自分の変化を受け入れるのが難しく、視覚障がい者同士で交流を持つまでに、大きな壁があるんです。それを乗り越えて仲間を持つことで、いろんな情報を得たり、これからの人生の楽しみ方を教えてもらったりしながら、少しずつ自分自身を受け入れられようになつていきます。前向きな先輩たちに出会って、いろんな刺激を受けてもらいたい。交流会の開催が、そんなきっかけになつてほしいと思つてます。」

中川さんは、支援活動を始めてから25年以上の間に、社会の中でも、視覚障がいのある人たちへの理解が大きく変わったと実感しています。

「視覚障がい者が電車に乗る時、以前はボランティアが入場券を買って車内の座席まで同行し、発車直前に急いで車内から降りたものでした。今は駅員さんをお願いしておけば、乗車や乗り換えのサポート、降りるときの手引きもしてくださいます。」

男性利用者の同行をされていて、私が男性トイレに入っていくけない時なども、通りすがりの人に声をかけてお願いすると、ほぼ皆さんが快く協力してくださいます。」



利用者に常に寄り添い、行動を一緒に

鉄道、ホテル、百貨店などの企業が、障がい者サポートに対して前向きに取り組み始めた近年。企業からの講習会の依頼も多くなりました。また、中川さんたちは、支援活動が広がることを願って、ホテルのロビーなどでは、利用者より一歩下がって、スタッフの対応を見守ることも大切にしています。

「視覚障がい者について理解し、支援することが一般の人まで浸透するには、まだ少し時間がかかると思います。『手引き講習会』や『出張授業』などのお声がかければ、企業や学校、どこにでもうつもりです。そして、全国どこの町でも、障がいのある人を支える行動が当たり前のようになっていけばいいですね。」

視覚障がいのある人が、今以上に、もっと自由に、気軽に外出を楽しめる日が来ることを願いながら、『クローバー』の活動は、これからも続いていきます。

問合せ

特定非営利活動法人 視覚障害者支援の会クローバー

TEL 06-6654-9064(火・土10:30~16:00)

FAX 06-6654-9064 Eメール info@osaka-clover.org

https://osaka-clover.org

[情報マーケットP9④に募集情報を掲載]

どんなこと
するの？

視覚障がい者 外出支援ボランティア

『クローバー』では、利用者から支援依頼が入ると、利用者の希望行動範囲に近いエリアに住む人から優先でボランティアコーディネートしていきます。

(※利用者がボランティアの交通費を負担するため)

外出支援の依頼には、買い物・行楽・スポーツ観戦・イベント・講座受講・受験・目的地への送迎、などがあります。



ある1日の活動

利用者のA子さんの趣味はマンドリン演奏。この日は、東淀川区にある教会まで、マンドリン発表会のための外出を支援しました。

AM10:00

大阪メトロ「梅田」駅の改札出口で待ち合わせ

事前にA子さんと、行先やスケジュールなどの詳細打ち合わせを行い、待ち合わせ場所に向かいます。待ち合わせ駅の改札出口までは駅のスタッフがA子さんをサポートしてくれました。



AM10:15

バス乗場まで移動して乗車

この日はA子さんの希望で、バスで目的地に向かいます。地下から地上への移動などは、階段、エレベーターなど何を利用したいかも伺います。バス車内では目的地までの地図をチェックしたり、A子さんとおしゃべりをして過ごします。



AM11:00

バスを降り、目的地まで徒歩で移動

A子さんに腕の肘部分を持ってもらい、スマートフォンの地図ナビゲーションでルートを確認しながら歩きます。利用者の希望があれば、途中で買い物をしたり、一緒に食事をしたりする場合もあります。



AM11:30

目的地の会場に到着

目的地に到着したら、A子さんの大切な時間を邪魔しないように、さりげなく準備をお手伝い。トイレへの移動や、演奏発表の際のステージ昇降なども介助します。



PM5:00

発表会が終了し、帰途へ。

朝、待ち合わせをした駅まで、A子さんをお送りします。活動後には『クローバー』に活動報告を行います。



令和3年度大阪市ボランティア活動振興基金 活動継続支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題に取り組み活動の継続的な実施を目的とした事業の支援

下町の人と暮らしの魅力を発信 桃谷ロイター実行委員会

戦前からの民家が多く残り、どこかノスタルジックな雰囲気が漂う生野区桃谷。この地域に魅せられ集まった人たちが、地域の特色を自分たちで調査し、発信することで、町の活性化を図っていかうと設立したのが『桃谷ロイター実行委員会』です。

町の中で出会った魅力的な人たちが、興味深い場所やモノを取材し、イラストや写真をふんだんに取り入れた地域情報誌『桃谷ロイター』で紹介。生野区内の公共施設やお店などを中心に配布しています。

「生野区は、福祉や空き家再生などの住民活動が活発な地域ですが、各団体の連携が十分に取れていないところもあります。『桃谷ロイター』で発信する



メンバーで『生野プロダクト』をイベント販売

ことで、他の人の活動も知ってもらい、活動の輪が広がっていく。そんな一役を担えたらいいなと思っています」と、代表の伊藤千春さん。今年で5年目を迎え、町の人と取材したお店などにつながりが生まれていることも、うれしいと話します。



事細かに取材した内容を『桃谷ロイター』で発信

生野区には、木工や鉄加工などのモノづくりをしている人も多く、

そんな人たちと協働で

製品を手がける

『生野プロダクト』

にも着手。地域の

高齢化を受け入れ

ながらも、魅力的

な生野らしさや技

術を未来につなぐ

ための取組みにも

期待が高まりま

す。

問合せ

桃谷ロイター実行委員会

Eメール momodaninoneko@gmail.com
http://momodaniloiter.com/



厚生労働大臣表彰受賞!!

福祉分野等のボランティアで長年活躍し、功績を残した人々に贈られる厚生労働大臣表彰。令和3年度、大阪市でこの賞を受賞したグループを紹介します。

手話コミュニケーションで 明るく、やさしい地域づくり

手話サークル『おおよど』(北区)

手話の奥深さに魅了された人たちが集い、毎週金曜日、熱心に練習を続けている手話サークル『おおよど』は、今年で設立から40年を迎えます。

「英会話と同じで、自分の手話が通じた時はうれしいですよ。それが励みになって、皆さんステップアップしていくんです」と、現在手話講師をつとめる榊島雅子さん(以下、榊島さん)。

『おおよど』では年に一度、『初級手話講座』を開催。多くの人に手話を経験してもらうことで、誰にでもやさしい地域づくりをめざしています。また、手話の練習を重ね、10年以上のキャリアを持つメンバーたちは、聴覚に障がいのある人と区役所や病院などに行き、手



(左から)手話サークル『おおよど』代表の市田泰造さん、手話講師の榊島雅子さん



メンバーは、社会福祉大会の手話ボランティアとしても活躍

話通訳のボランティアとして活躍しています。

「カタカナ用語が増えたり、時代につれて手話もどんどん変化していきます。*ろうあ者の人たちには、新しく生まれた手話を教えてもらったり、練習にお付き合いたいだったり、私たちもいろんな意味でサポートしてもらっています」と、榊島さん。

毎年素敵な出会いがあり、いつでも和気あいあいとした雰囲気に包まれていることが『おおよど』の何よりの魅力。これまでに出会ってきたすべての人の協力のおかげで今があるのだと、榊島さんは朗らかな笑顔で話してくれました。

*幼児期以前に聴力を失い、手話を母語として使用している人

問合せ

北区社会福祉協議会

TEL 06-6313-5566
https://www.osaka-kitakusyakyou.com

ボランティア活動総合補償制度のご案内

ボランティア活動保険

補償概要	ボランティアの方が日本国内における、ボランティア活動中に、 ①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償） ②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）		
加入対象	社会福祉協議会で、把握または登録（届出または委嘱等の手続きを経ており）している社会福祉協議会の活動趣旨に準じたボランティア活動を行うボランティア団体、個人		
保険期間	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
対象活動	①自発的な意思により他人や社会に貢献することを目的とし、日本国内で取り組まれる活動であること ②所属ボランティア活動団体の会則に則り、企画立案された活動や、社会福祉協議会へ届け出たり、社会福祉協議会の委嘱を受けた活動であること ③無償の活動であること（交通費、食事代など費用弁償程度の支給は無償の範囲に含まれます）		
年間保険料 （1人）	Aプラン	Bプラン	Cプラン
	300円	500円	600円

非営利・有償活動団体保険

（団体・グループで加入）

補償概要	非営利・有償活動中に、 ①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償） ②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）	
加入対象	社会福祉協議会や加入要件を満たした、非営利活動を実施する団体・グループ	
保険期間	毎年4月1日から翌年4月1日まで	
対象活動	①福祉・文化・保健衛生・自然環境などの分野における『営利目的ではない社会貢献活動』であること （例）配食サービス・訪問サービス・手話通訳・環境調査など ②サービス提供先（利用者）から実費（交通費・食事代・材料費）を超える対価を得ていること ③その他、大阪市の社会福祉協議会と保険会社において適当と認められた活動であること	
年間保険料	Aプラン	Bプラン
	加入時期により金額が異なります。 〈Aプラン・Bプラン共通〉 感染症見舞金【オプション】1,870円/人 ※加入時期に関わらず一律	

詳細はパンフレットをご確認ください

大阪市ボランティア・市民活動センターと、各区ボランティア・市民活動センターでご加入いただけます

●お問合せ先

制度運営

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 株式会社島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階

TEL.06-6252-4519 FAX.06-6245-4686



拍手で応援！セレッソ大阪サッカー観戦

3月26日(土)、ヨドコウ桜スタジアムで行われたセレッソ大阪対大分トリニータ戦に、住吉区と平野区で活動するこどもの居場所団体が招待されました。

今回はセレッソ大阪を応援する飲食関連業「Sカップ」による試合観戦企画で、「コロナ禍で大変な思いをしているこどもたちのためにできることがあれば」との思いから、こどもと引率する保護者を含め100人を招待していただきました。

試合が始まり、応援団の太鼓が鳴り響くスタジアムに、こどもたちの気持ちも自然に高まります。

前半は展開を見守るこどもたちでしたが、チャンスが広がると拍手で応援。セレッソ大阪の選手が次々と得点を加えると、手を挙げ飛び跳ねながら大喜びするこどもたちでした。

試合観戦終了後、普段は入れないピッチの中まで入れてもらい、こどもたちは「すごい」と大興奮。「楽しかった」「また来たい」という声が続々にあがります。

保護者からも「コロナ禍で外出が限られるなか、貴重な機会をありがとうございました」「大声を出さない、拍手での応援は新鮮でした」との感想が聞かれ、参加者の皆さんはとても良い表情をしていました。



スタジアムで観るサッカーにドキドキ!



最後にピッチで記念撮影

社会全体でこどもを支える仕組み

大阪市社会福祉協議会 地域こども支援ネットワーク事業の取組み

こどもに関する課題を「他人事」ではなく、一人ひとりが「我が事」と捉え、地域住民と社協、地域団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、企業・団体などが一体となって、こどもの食や学習の支援をはじめ、こどもたちが身近に集うことができる居場所づくりを推進しています。

◇活動者や応援者のネットワークづくり

- 地域こども支援団体連絡会
開催日:偶数月の第3金曜日 午前10時~正午
- 区域のネットワークとの連携

◇企業や社会福祉施設の協力による物資提供

- こども支援団体への物資提供の調整

◇企業等の協力による、交流イベントや体験活動

企業等の協力により、様々な世代とふれあう交流イベントや、企業の強みを活かした職業体験活動などを実施し、こどもの文化的な活動や将来の夢や目標を持つことを応援しています。

◇活動拠点や活動者の拡充

- こどもの居場所づくりサポート講座
- こども支援活動に関する相談支援

◇こども支援活動の啓発や広報活動

- 啓発シンポジウムの開催
- ホームページでの情報発信

ホームページは
こちらから



ふらりと入って自由に過ごせる『10代のヒミツキチ』がある古本屋

だい
き
ぢ
う

阿倍野区の王子商店街にほど近い静かな住宅街に、「入っておいで」と言わんばかりに、いつも扉が開いている古本屋『大吉堂』があります。

店内には10代の心を刺激する本をテーマに、YA(ヤングアダルト)やライトノベル、児童書、ファンタジーなどがずらりと並びます。

「自分が中学生の頃、読みたい本がなかなか見つけれなくて。高校生になってライトノベルなどを知った時、こんなに面白い本がいっぱいあるのに、どうして誰も教えてくれなかったんだろう」と悔しい思いをしたんです。

笑いながらそう話すのは、店主の戸井律郎さん(以下、戸井さん)。10代の人たちに、読みたい本に出会ってほしいと、集めに集めた本はおよそ7000冊にもおよびます。

『大吉堂』には、戸井さんが『10代のヒミツキチ』と名付けた、本を読んでも、自習をしても、何もせずじぼーっとしていてもいいスペースが設けられています。



店主の戸井律郎さん

「居場所を10代に限定するつもりはないんです。でも、あえて10代と銘打たなければ、こどもと大人



店内奥に設けられた「10代のヒミツキチ」

の狭間で、今まで居場所がなかった10代には届かないと思うんです。」

スペースの用途を決めると、何かをしないとここに居られなくなってしまう…。温かみ

のある木の椅子とテーブルが置かれた場所からは、戸井さんのそんな優しさが伝わってきます。

『大吉堂』には、貧困やヤングケアラーなど社会問題についての本もあり、そこにも戸井さんの10代の人たちへの共感が表れています。

「自分で自分の感情が分からずにモヤモヤと悩んでいる時に、本には自分と同じ感情が文章化されていることがあります。この気持ちは自分だけではない、おかしいことではない、と、手に取った本が代弁してくれることが多々あると思います。また、社会について、知っておくことが友人や知人に対しての理解につながるのではないのでしょうか。」

戸井さんは、だからといって、読む本を押し付けてはいけません。本を「読む・読まない」の選



胸が躍るようなタイトルの本が店内にあふれます

問合せ

大吉堂 大阪市阿倍野区阪南町3-12-23
Eメール daikichidou@gmail.com
https://daikichidou.web.fc2.com

択から始まり、「どんな本を読み、好きと感じるのか」といった意思を自分で決めることが、自主性の成長には大切だと話します。

自分自身で選び取ったものを、堂々と「好き」と言えるようになってほしい。自由に過ごせる『大吉堂』の空間の中には、こどもたちが自分らしく生きていくことへのエールが込められています。



古民家を改装した古本屋『大吉堂』

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



ボランティア
募集などの情報



イベント・講座・
セミナーなどの情報



その他、助成金
などの情報

OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④ 視覚障がい者支援ボランティア募集

特定非営利活動法人 視覚障害者支援の会 クローバー **平日 土日祝**
<https://osaka-clover.org>

視覚障がい者の外出を支援するボランティア活動です。外出介助の基本は約2時間半の無料講習会でマスターできます。

日 程 不定期(依頼があった際に、ご都合が合えば活動していただきます)

場 所 関西各所(依頼内容に応じて変わります)

人数・条件 どなたでも ※無料講習会をお受けいただけます

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6654-9064(火・土10:30~16:00)
FAX/06-6654-9064
Eメール info@osaka-clover.org

① パソコン教室 ボランティア参加者募集

NPO法人 MAMIE **土日祝**
<http://mamie.jp/>

知的障がい者などのサポートをしながら、パソコンを指導して下さるボランティアを募集します。

日 程 毎週土・日曜日 13:00~17:30

場 所 新和ビル(淀川区西中島3-20-8)
地下鉄「西中島南方」駅から徒歩1分
阪急電鉄「南方」駅から徒歩3分

人数・条件 知的障がいなどの障がい理解のある人 5人まで

申込方法 電話・FAX・Eメール 締切:8/31

問合せ▶ TEL/06-6885-4141 FAX/06-7739-5360
Eメール mamie@mamie.jp (担当:安藤)

⑤ ふうせんバレーボール大阪大会のボランティア募集

一般社団法人 大阪ふうせんバレーボール普及会 **土日祝**
<https://www.balloonvolleyball.org/>

障害のある選手を中心にして風船をボールに、バレーボールの大会をします

日 程 6/4(土) 9:30~16:30

場 所 大阪市長居障がい者スポーツセンター
(東住吉区長居公園1-32)
JR「長居」駅から徒歩約220m
地下鉄「長居」駅1番出口から北に約140m

人数・条件 交通費 あり(上限1,000円) 食事 あり
スポーツボランティア経験者18歳以上
募集定員あり(4名)

申込方法 FAX・Eメール 締切:5/25(水)

問合せ▶ TEL/06-6815-3523 FAX/06-6815-3523
Eメール ishkatsu@yahoo.co.jp (担当:石井)

② 中高年の居場所づくり 「希望の居場所モーニングサロン」ボランティア募集

特定非営利活動法人 希望の居場所 **平日 土日祝**
<http://1000c.jp>

中高年の孤立を防ぎ、健康に生きていくための地域福祉です。「共助」の居場所で、話し相手などのお手伝いをしてください。

日 程 毎週火・木・土曜日 9:00~12:00

場 所 エスコート新森(旭区新森7-1-2 1F)
地下鉄「清水」駅から徒歩3分
大阪市バス「旭東中学校前」駅から徒歩1分

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-7175-4748 FAX/ 06-7175-1099
Eメール 1000c.eikan@gmail.com (担当:前田)

⑥ 近松門左衛門作品朗読演劇会

NPO法人 なのの絵本 **土日祝**
<http://nananoehon.jp/>

近松門左衛門作品朗読演劇
京本氏脚本「女殺油地獄」「夕霧太夫」

日 程 6/11(土) 14:00~15:00

場 所 愛日会館(中央区本町4丁目7-11)
地下鉄「本町」駅4番出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・Eメール 締切:先着順

問合せ▶ TEL/06-6264-4100
Eメール nananoehon@gmail.com (担当:広瀬)

③ 天王寺区の緑を守ろう! ~街路樹や公園樹をササから守る活動に参加しませんか~

天王寺区グリーンキーパーズ **土日祝**

ササの繁殖による樹木の衰弱や枯死を防ぐために、谷町筋や生玉公園でササ刈りや樹木の手入れの活動を行っています。興味のある人はぜひご参加ください。

日 程 6/4, 7/2, 8/6ほか毎月第1土曜日(※雨天時は5日後の木曜日)
10:00~12:00

場 所 天王寺区社会福祉協議会玄関前(天王寺区六万休町5-26)
地下鉄「四天王寺前」駅から徒歩2分 9:45集合

人数・条件 どなたでも 作業のできる服装(長袖・長ズボン・帽子)でご参加ください

申込方法 電話(※下記 問合せ先まで)

問合せ▶ TEL/06-6774-3377
(担当:天王寺区社会福祉協議会 荒野)

⑪館長のおもてなし講座

日本音楽ヘルパー協会

<https://mhhelper.jp/>

サモックホール(寝屋川市)の館長 織島匡子が、コンサートやイベント開催・音楽療法から得た接遇のKnow-Howを解りやすくレクチャーします。

日 程 6/4(土) 13:30~15:00

場 所 ファラン天満(中央区天満橋京町1-27)
地下鉄・京阪電車「天満橋」駅11番出口から徒歩3分

人数・条件 どなたでも 募集定員20名 参加費:1,000円

申込方法 電話・FAX・Eメール 締切:5/31(火)

問合せ▶ TEL/072-839-3570 FAX/072-839-3570
Eメール info@mhhelper.jp (担当:松浪 田津子)

⑦世界の課題に目を向けよう~国際協力NGOについて~(オンラインセミナー)

クレオ大阪子育て館

<https://www.creo-osaka.or.jp/north/>

国際協力NGOの活動について知り、日本から世界に目を向け、私たちがSDGs達成を含めた課題解決のためにできることについて考えましょう。

日 程 5/31(火) 19:00~20:30

場 所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20)
地下鉄「天神橋筋六丁目」駅 3番出口から連絡
JR大阪環状線「天満」駅 北へ徒歩10分

人数・条件 どなたでも 募集定員40名(先着順) 参加費:無料

申込方法 ホームページ 締切:先着順

問合せ▶ TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277
Eメール info@osaka-kosodate.net (担当:岸上 真巳)

⑫知的障がい者ガイドヘルパー養成講座

東住吉区ボランティア・市民活動センター

<https://sawayaka-c.ne.jp/>

本講座を修了すると知的障がい者ガイドヘルパーの資格が取れます。ぜひ、知的障がい者の外出サポートをする仕事にチャレンジしてみませんか?

日 程 講義 5/27(金)9:45~17:00 5/28(土)10:00~16:40
閉講式 6/25(土)10:00~11:30 ※実習は別途2日間有

場 所 東住吉区社会福祉協議会(さわやかセンター)
(東住吉区田辺2-10-18)
地下鉄「田辺」駅から徒歩7分
JR「南田辺」駅から徒歩8分

人数・条件 原則18~65歳で障がい者福祉に関心があり、全日程受講できる人
募集定員あり 先着15名 参加費:2,860円(テキスト代)

申込方法 電話・Eメール・郵便・来所 締切:5/23(月)

問合せ▶ TEL/06-6626-1811 FAX/ 06-6625-8260
Eメール cotton@cafe.email.com 生活支援センターコットン(東住吉区田辺6-4-1) (担当:大迫 友仁)

⑧聴覚障がい者のためのいきいきセミナー

大阪市立総合生涯学習センター

<https://osakademanabu.com/umeda/>

聴覚障がいをお持ちの皆さんが楽しみながら学べる場 手話通訳・要約筆記つき

日 程 6/22~7/27 毎週水曜日 全6回 13:30~15:30

第1回:椅子を使ってストレッチ運動
第2回:足の骨格と靴の選び方
第3回:スマートフォンの便利な機能と安全な使い方 ほか

場 所 大阪市立総合生涯学習センター
(北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階)
JR「北新地」駅東改札口直結、JR「大阪」駅中央改札口から徒歩10分

人数・条件 聴覚に障がいのある大阪市内在住または在勤で50歳以上の方
募集定員30名 参加費:無料

申込方法 FAX・往復はがき・来所(多数抽選) 締切:6/1(水)

問合せ▶ TEL/ 06-6345-5004 FAX/06-6345-5019

⑬障がい者のためのパソコンボランティア 令和4年度大阪府障がい者ITサポーター養成研修会 受講者募集!!

大阪府ITステーション

<http://itsapoot.jp>

障がいのある人がITを学ぶ際にサポートができるボランティアを養成します。サポートをするときに必要な構えや知識を学んでいただきます。

日 程 第1回6/6(月)・6/7(火) 9:30~16:30
第2回8/10(水)・8/11(木・祝) 10:00~17:00

場 所 第1回/大阪府ITステーション(天王寺区上汐4丁目4-1)
地下鉄「谷町九丁目」駅から徒歩約600m
地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から徒歩約600m
近鉄電車「大阪上本町」駅から徒歩約800m
第2回/国際障害者交流センタービッグ・アイ(堺市南区茶山台1-8-1)
泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅から徒歩約3分

人数・条件 大阪府内に在住・在勤・在学(高校生不可)で大阪府ITステーションの活動にボランティアとして協力可能な18歳以上の方。各回2日間とも参加可能で、パソコンの基本的な操作等を説明できる方。
募集定員:第1回/6名 第2回/8名 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・ホームページ・来所
締切:第1回/5/29(日)
第2回/7/31(日)

問合せ▶ TEL/06-6776-1241 FAX/06-6776-1281
Eメール sapoken@itsapoot.jp (担当:岡嶋 浩子)

⑨認知症の人とのコミュニケーション

介護保険市民オンブズマン機構大阪

<https://o-netnpo.site>

認知症の人の会話を増やすためのツール「CANDY」を通して認知症の人をより良く理解する支援方法を学びます。講師は佐藤真一/大阪大学名誉教授。
オンライン参加も可。

日 程 6/25(土) 14:30~16:30

場 所 ドーンセンター(中央区大手前1-3-49)
地下鉄・京阪「天満橋」駅1番出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 募集定員あり(会場30名)、オンライン参加も可能
参加費:1,000円

申込方法 電話・FAX・Eメール 締切:会場30名については先着順
オンライン参加の場合は6/20(月)までに申込

問合せ▶ TEL/06-6949-8192 FAX/06-6949-9296
Eメール o-netnpo@train.ocn.ne.jp (担当:堀川)

⑭音訳・点訳ボランティア養成講習会

大阪市立早川福祉会館点字図書室

<http://www.lighthouse.or.jp/hayakawa/>

見えにくい・見えない人のために、図書や情報を音声や点字で届けてみませんか?初めての方向けの講習です。

日 程 ●音訳<全26回>
午前の部 6/16~12/22の各木曜日 10:00~12:00
夜の部 6/15~12/21の各水曜日 18:30~20:30

●点訳<全19回>
午前の部 6/8~10/19の各水曜日 10:00~12:00
夜の部 6/10~10/28の各金曜日 18:30~20:30

場 所 大阪市立早川福祉会館(東住吉区南田辺1-9-28)
地下鉄「駒川中野」駅から徒歩約10分、「西田辺」駅から徒歩約15分

人数・条件 ・事前説明会(5/25(水)~5/27(金))に参加できる人
・修了後、点字図書室のボランティアとして活動いただける人
・パソコンの基本操作ができる人 募集定員:各20名 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・来所 締切:5/31(火)必着

問合せ▶ TEL/06-6622-0123 FAX/ 06-6622-0020
Eメール hayakawa-f@k2.dion.ne.jp (担当:雲津・濱崎)

⑩トランスジェンダーの性別違和 職場のカミングアウト(登壇者:えいこさん)

ライフホスピタリティマネジメントサービス

<https://lhms.jp/>

在職中 LGBTQ研修後 性別移行によるカミングアウト 会社が取った行動とは?上司部下同僚の反応は?実体験を基に赤裸々にお話させて頂きます

日 程 6/11(土) 13:30~15:00(開場:13:00~)

場 所 大阪市立住吉区民センター 2階 図書館棟 集会室4
(住吉区南住吉3-15-56)
南海高野線「沢ノ町」駅から徒歩5分
JR「我孫子町」駅から徒歩10分

人数・条件 どなたでも 募集定員30名(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・ホームページ 締切:先着順

問合せ▶ TEL/080-8322-5530 FAX/06-7635-8664
Eメール info.lhmservice@gmail.com (担当:山崎 あおい)

⑱ 2022年度子ども文庫助成事業

公益財団法人 伊藤忠記念財団

<https://www.itc-zaidan.or.jp/summary/library/grant.html>

子どもたちへ本を届けることを目的に読書啓発活動を行っている皆様を応援します。詳細はHPにアクセスいただき、応募(推薦)用紙に必要事項をご記入の上、下記提出先までお送りください。

- 助成対象**
- ①子どもの本購入費助成(助成金30万円)
 - ②病院・施設子ども読書活動費助成(助成金30万円)
 - ③子どもの本100冊助成(当財団が選んだ児童図書セット)
 - ④子ども文庫功労賞(賞金・記念品)

応募方法 6/20(月) (当日消印有効)
提出先 公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部
 〒107-0061 東京都港区北青山2-5-1

問合せ▶ 公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部
 TEL/03-3497-2651 FAX/03-3470-3517
 Eメール bs-book@itc-zaidan.or.jp

⑮ 第21回子育てボランティア養成講座

阿倍野区子育て支援連絡会

阿倍野区の子育て支援に興味・関心がある人 大募集!!

日程 6/3~7/8 (毎週金曜日) 10:00~12:00
 6/6(月)~7/7(木)に半日実習あり(希望者のみ)

場所 阿倍野区内(毎回変わります)

人数・条件 どなたでも(阿倍野区内の子育てボランティアに興味がある方)
 募集定員20名(多数抽選)
 参加費:1,000円(資料代・保険代含む)

申込方法 電話・FAX・郵便 締切:5/20(金)必着

問合せ▶ TEL/06-6627-1977 FAX/06-7172-1511
 〒545-0021 阿倍野区阪南町3-31-15(NPO法人 エフ・エー)

⑲ 2022年度「シニアボランティア活動助成」 「ビジネスパーソンボランティア活動助成」

公益財団法人 大同生命厚生事業団

<https://www.daido-life-welfare.or.jp/>

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア(年齢満60歳以上)が80%以上のグループ、および、ビジネスパーソン(会社員、団体職員、公務員、経営者、個人事業主)が80%以上のグループ(いずれもNPO法人を含む)。ただし、過去5年以内(2017年~2021年)に当財団の助成金を受けたグループは除く。

助成額 2つのボランティア活動助成をあわせて、原則1,000万円以内
 1件 原則10万円。特に内容が優れている場合は20万円限度で助成

応募方法 HPから申込書をダウンロードし、記入のうえ郵送してください(※HP参照)

応募締切 5/25(水) (当日消印有効)

問合せ▶ 公益財団法人 大同生命厚生事業団 事務局
 〒550-0002 西区江戸堀1-2-1 大同生命大阪本社ビル内
 TEL/06-6447-7101 FAX/06-6447-7102

⑯ 初級手話講習会を開催!

北区ボランティア・市民活動センター

<http://osaka-kitakusyakyou.com/>

手話を覚えてみませんか?6ヶ月で基礎的な手話が身につきます。初級コース終了後、手話サークルでステップアップもできます。ぜひご参加ください。

日程 6/17(金)~11/25(金)
 毎週金曜日(但し、祝日・第5週は除く) 18:30~20:30

場所 大淀コミュニティセンター(北区本庄東3-8-2)
 市バス「天神橋8丁目」から徒歩3分
 地下鉄「天神橋筋六丁目」から徒歩8分

人数・条件 初めて手話を学ばれる方が対象です
 募集定員あり(多数抽選) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・来所 締切:6/11(土)必着

問合せ▶ TEL/06-6313-5566 FAX/06-6313-2921
 Eメール kitamail@osaka-kitakusyakyou.com (担当:重信)

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。



必ず参加前に連絡して確認をお願いします

⑰ 第42回 緑の都市賞

公益財団法人 都市緑化機構

<https://urbangreen.or.jp>

緑の都市賞は、明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、緑の保全・創出活動に卓越した成果をあげている市民活動団体、企業および公共団体を顕彰し、これにより広く都市の緑化推進、緑の保全による快適で地球にやさしい生活環境を創出することを目的とし、1981年に創設されました。第42回を数える歴史あるこの賞に今年輝くのは…皆様、奮ってご応募ください。

応募要件 緑の市民協働部門:主に市民団体 ※行政や民間事業者との協働を含む

緑の事業活動部門:主に民間事業者 ※市民団体や行政との協働を含む

緑のまちづくり部門:主に市区町村 ※市民団体や民間事業者との協働を含む

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、緑化や緑の保全の成果が確認・比較できる写真(15~20枚)及び、その他の必要な書類を添えて送付(※詳細はHP参照)

応募締切 6/30(木)

問合せ▶ 公益財団法人 都市緑化機構内「緑の都市賞」事務局
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
 TEL:03-5216-7191 FAX:03-5216-7195
 Eメール midori.info@urbangreen.or.jp

ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1 興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2 活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3 約束やルールは必ず守ろう!

Point 4 相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリリーススタイルでお届けします。

若者の主体化を支援するワクワクがいっぱい!

Wisa(ウィーサ) 特定非営利活動法人わかもの国際支援協会

Wisa(ウィーサ)は、外国にルーツのあるこどもや、一人親家庭など、学校に通学したり社会参加することにハードルのあるこども・若者が、ボランティアを通じて社会にいきいきと参加できるような支援をしています。たとえば、将来の目標やキャリアで悩んでいる若者が楽しくおしゃべりしながら自己分析ができるワークを開発・普及しています。

また、こども達一人ひとりが個性と尊厳を大切にされる多文化共生の実現を目指して、家族・保護者が子育ての悩みについて語り合える家族会「こもりす」を、大阪市ボランティア・市民活動センターで月1回開催しています。

海外ではラオスのこどもを支援するために民話・絵本創りを行ったり、バングラデシュでは女性の社会進出を図るプログラムを行っています。さまざまな活動していますが、共通していることは若者が自立して生きていくためのリテラシー(社会・他者への共感・認識・スキル)を高め、その主体化のきっかけとなるボランティア・自主研究・就業の3つを支援していることです。最新の活動については、ぜひInstagramからのぞいてみてください!

<https://wakamono-isa.com>



Wisaの活動メンバーたち

Instagramは
こちらから!



情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。

(例: 2022年7月15日発行号(2022年8月号)に掲載希望の場合は2022年5月末日まで)



おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

小さくたたんで
持ち歩けるよ!



縦410mm×横380mm



勉強したいことは生徒たちが自分で選びます

私は、2021年の春頃から「みんなで学ぶ教室」で学習支援のボランティア活動を始めました。以前から教員志望だったため塾講師のアルバイトもしていましたが、学習の環境が整った生徒が多く、学校が抱える問題とは向き合えていないのではないかなと思うようになりました。その時に大学の実習を通じて学習支援に興味を持ち、この教室と出会い活動させていただくことに決めました。

塾と同じように高校進学を目的としています。それに加えて自分の力で学習できるようにな

ることを重視している教室の方針に魅力を感じています。「今日はこれを教えよう」と自分たちが決めておくのではなく、生徒たちが「今日はこの勉強をしたい」と言って課題を持ってきたり、教室にある問題集を使って復習したりと、生徒たち自身が勉強の内容を考えてきています。生徒たちが自分で学習を進められる力をもって教室を卒業してもらえらうに、これからもサポートしていきます。



落ち着いて学習できる教室

生徒たちの意思を大切に、学習を楽しくサポート

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

それゆけ!
がんばれ!
連載リレーコラム
No.21

大阪教育大学
数理情報コース
高見春來(21歳)



プロフィール

所属団体: 堂ヶ芝学習館「みんなで学ぶ教室」
趣味: 読書
学年: 3年

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)

※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

- あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
- 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
- これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
- 今月号で良かった記事は何ページですか?その理由も教えてください。
- 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
- その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO267号係」まで



(住所は下記参照)

※締め切り 2022(令和4)年6月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

大阪シティ信用金庫
社会貢献活動トピックス

第33回大阪シティ信用金庫杯
第42回大阪府春季少年軟式野球大会に特別協賛

当金庫は「第42回大阪府春季少年軟式野球大会」に特別協賛し、4月17日(日)に開会式が行われました。本大会は子どもたちの心身の健全な成長を願い、野球を通じた指導・育成への協力を目的に平成2年から毎年協賛しており、今大会で33年連続となります。

開会式後には、昨年の天皇賜杯で4度目の全国制覇を果たした当金庫野球部が、球児たちの熱い視線のもと、模範演技を披露するとともに、少年部の選手が当金庫野球部を相手に打席に立ち、バッターとして挑戦するエキシビジョンマッチも行いました。



少年部の選手がバッターとして挑戦したエキシビジョンマッチ

ボランティア・市民活動情報誌
「COMVO」へ広告募集!

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。



- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)
- 申込方法
下記まで問合せください

広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

- ※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。
- ※掲載ページの指定はできません。
- ※内容により掲載をお断りする場合があります。

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

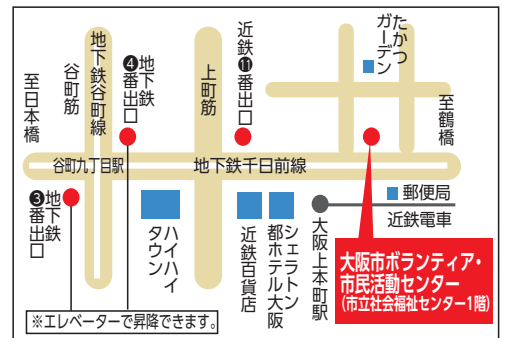
TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2022年5月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



企画・発行

「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どもの明るい笑顔が力にして私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com



三倉茉奈

三倉佳奈

未来へ飛ばそう
あなたの夢を

応援します! 地域とあなたの輝く未来

信頼で地域とつながる
City 大阪シティ信用金庫

本店 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL(06)6201-2881(代表)